

日本構想学会では、継続的にグレートブックスに関連する研究発表やセミナーの開催をおこなってきました。今回はそれぞれ異なるスタイルで4つのグレートブックスへアプローチします。非会員にも公開です。予約の上、どうぞお気軽にご参加ください。

9:15 - 9:30 opening

9:30 - 11:00 session1 Fベーコン『ノヴム・オルガヌム』

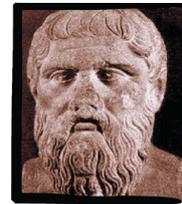


プレゼンター 半田智久

「知は力なり」のことばをもって学問の大革新に打って出たベーコンは、まずわたしたちの思考の特性を観察することによって、その知が陥りやすい罠に警鐘を鳴らした。その典型「イドラ」論を中心に彼のことばをたずね、共に考えたい。適宜ディスカッションを挟んで内容紹介を進めます。参加にあたり事前に同書を知っておく必要はありません。

... lunch ...

12:30 - 14:00 session 2 プラトン『饗宴』



プレゼンター 猪岡武蔵

アテナイの悲劇詩人アガトンの祝宴に招かれた論客たち。そこでソクラテスは、女性の知者ディオティマの言葉を借りてこう語った。「愛とは自身の存在を永遠なものにしようとする欲求である・・・」。師ソクラテスの姿を借りてプラトンが描いた愛とはいかなるものか、触れてみましょう。前半に内容紹介、後半にディスカッションを行います。事前読書は不要です。

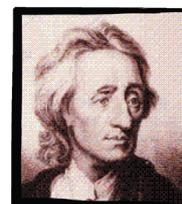
14:30 - 16:00 session 3 VE フランクル『夜と霧』



モデレーター 後藤英司

発表者 雨宮愛理、稲垣萌美、北井勇也、中尾聡
横浜市立大学では「生命と倫理」を主たるテーマとしたグレートブックス・セミナーを医学科生を対象として企画・実施しています。今回はグループでフランクル著「夜と霧」を読んで討論して感じ・考えたことを発表して参加者と討議できればと考えています。

16:30 - 18:00 session 4 Jロック『人間知性論』の中の(岩波文庫版の第2巻 第27章「同一性と差異性について」)



モデレーター 原田広幸

今日の社会的議論(いわゆる「論壇」)に欠けていると思われるものは、基礎的な理論への関心である。ここでは、今日的な課題である脳死、クローン、刑罰などの問題の基礎となる「人格の同一性」に関する古典的著作を取り上げ、応用的な問題に取り組む前提となる基本的な考え方について、深く議論してみたいと思う。岩波文庫(白)7-2(大槻春彦訳)『人間知性論』全4巻のうちの第2巻(¥940 税別)の該当箇所をできれば事前に読んできていただきたい。

... meal ...

19:30 - 20:50 session 5 総括フリーディスカッション

本日のセミナー全体を踏まえて発展的に自由なディスカッションをおこないます。

20:50 - 21:00 closing

Great Books Seminar Festival

2005年9月24日(SAT) 9:00 - 21:00
東京国際フォーラム(有楽町)
G608

<http://www.jssi.jp>

参加予約は電子メール admin@jssi.jp 学会事務局まで

参加費は当日会場: 学会会員 ¥1000 非会員 一般 ¥3000 学生 ¥2000
高校生無料
飲食の提供はありません